

宇治情報

No.85

(体験集通算 435号)

宝 蔵

二〇二二年の新年をむかえて

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

新年明けましておめでとうございます。

宝蔵会の皆様方には、孟蘭盆供養大祭や新年祭など、生長の家宇治別格本山の諸活動にご愛念、ご協力を頂きますこと、心より感謝申し上げます。本年も昨年に引き続きよろしくお願い申し上げます。



昨年は前年連続しております「新型コロナウイルス」による感染症が世界規模での広がりにより、多くの行事に影響を与え、中止になったり、規模を縮小しての開催となったイベントが多数みられました。宇治別格本山におきまして、毎月の練成会は中止の状態が続いており、

また八月の孟蘭盆供養大祭と自然災害物故者追悼慰霊祭は中止となりました。

最近になって日本国内での感染者数は少なくなってきたておりますが、世界的に見ますとまだまだと云ったところです。十二月十六日現在の世界の状況は、感染者数は、二億七千七十八万人、死亡者数は、五百三十一万人となっており、日本国内では、感染者は百七十二万九千人、死亡者は一万八千三百七十五人になっております。最近になって南アフリカで発生したとされる、オミクロン株による新たな感染が確認され、世界中でその対策におわれる状態であります。この様な中、十二月十一日に、宇治別格本山の自然災害物故者慰霊塔前で、新型コロナウイルス感染症の犠牲者を供養する、「世界規模感染症物故者追悼慰霊祭」が厳かに執り行われました。参加者は本山員三十二名がマスクをつけて参列しました。同慰霊祭では、なくなれた世界五カ国の聖（次頁に続く）

使命会員一〇三名の名前が読み上げられ、その後『自然と人間の大調和を観ずる祈り』と『大自然讃歌』を一斉読誦して、滞りなく終了いたしました。

同慰霊祭は「新型コロナウイルス感染症」が人間中心主義による自然破壊が原因であることから、自然災害でなくなられた方と同様に供養を行い、さ

随想

睦月 千年の寿を祈る

祭 司 部

岡 田 伊 都 子

新年 あけましておめでとつございます。

未だにコロナ禍の状況下ですが、宝蔵会員の皆様におかれましては、神の無限の智慧と愛に導かれて、「真・善・美」の大調和が実現しておられますことをお慶び申し上げます。ライブ配信されております早朝行事、宝蔵神社月次祭や先祖・流産児供養祭にも、多くの皆様がご参加くださいます。誠にありがとうございます。新春を迎えた大拝殿にはご奉納頂きました鏡餅が供えられ、早朝行事で「鏡餅奉納者祝福

らに自然と人間が大調和する「新しい文明」実現に向け決意を新たにすることを目的として執り行われたのであります。

ところで、来年二〇二二年（令和四年）の干支は、壬寅（みずのえとら）であります。

陰陽五行説から見た二〇二二年の干

祈念」をお祈りしております。

祭司部では、自然と人間のムスビの働きを実践するPBS活動として、今年も串柿作りのミニイベントを行いました。十月末に境内の裏山に自生している渋柿を百個採って、本山の竹で作製した串にさして、屋外で約三週間乾燥させ、七本の串柿を作りました。一本の細い竹串に、十個の柿を左右に二個ずつ、中央部分に六個と分けてさした串柿には、「いつもニコニコ（二個二個）仲睦まじく（中六つ）」という願いが込められているようで、大拝殿に奉

支「壬寅」は「陽氣を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表しているようであります。コロナ禍ではありますが、日々三正行を実修して、心を明るく持ち、節度と忍耐をもって、今年も前進していきましょう。



納された鏡餅に飾りました。

餅は古くから、稲霊の宿った神聖なものとして神様に捧げられていました。鏡餅は、神様が宿るとされる鏡に見立てた呼称で、新年の神様である年神様の依り代（居られる場所）とされ、年神様から新しい年の幸福や恵み、新たな一年分の力を授かると伝えられています。鏡餅の飾りには、裏白、譲り葉、橙、昆布、串柿などがあ

り、それぞれに意味があつて、願いが



込められてい
ます。特に鏡
餅、橙、串柿
は「銅鏡、勾
玉、剣」の「三
種の神器」を
象徴している
そうです。
柿は、元々
「嘉来（かき）」

に通じ、喜びや幸せをかき集めるとい
う語呂合わせの縁起ものとされていて
大きな種が入っていることから、子宝
に恵まれるという意味もあるようです。
さらに串柿には、たとえ渋い柿であ
っても、手を加えて修練された瞬に
は、床の間の鏡餅の飾りにもなるとい
う高い精神性を表現しているともいわ
れています。皮を除いてすだれ状に吊
された茜色の串柿は玉のれんのように

美しく、錦秋の境内と見事に調和して
いました。
祭祀という形式を通して神に仕えて
祈る日々に、形の示す意味や願いを新
たに気づきながら、感謝を捧げていま
す。
皆様お一人おひとりにとって、今年
一年も、神の祝福に充ち満ちた最善最
良最高の日々でありますことをお祈り
申し上げます。

実感として感じられました。

今日も午前午後にわたり、対面での
講話が聴け、心にしみわたりとてもよ
かったです。

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

R. I (50代)〈女性〉

先週土曜日一日参加させていただ
いて、とても嬉しいことがあります。

家族のことで自分では意識していな
い間に、心配したり、腹を立てたりが
続いてきたためか、下痢と腹痛が続い
ていたり、また左足の甲の部分に小豆
大くらいの大きさのしこりができてい
るのも気になっており、一度病院へ行
かないといけないと覚悟しておりますし

た。その前に浄心行をした方がいいな
と思い、参加させていただきました。

その後、体調のことは気にしていま
せんでしたが、翌日から腹痛や下痢が
なくなっておりました。しこりは五日
後に気がついたのですが、このあた
りだったのに・・・”といくら探して
も、しこりらしきものは消えていまし
た。本当にびっくりしております。

また講話では、人間は肉体なしで、霊
的実在であるという真理が、しみじみ

M. S (60代)〈女性〉

本日は宇治の一日講話に参加させて
いただき、心より感謝しています。

十一月から新しい形の講話、とても
充実していてよかったです。どの講師
のお話も情熱と心がこもっており、日
常生活の中で、現象にとらわれがちに
なる私の心を修正することが出来まし
た。
(6頁に続く)

ご先祖と共に悦びの一日講話プログラム《1月》

日時	会場 大講堂	講話のテーマ&行	講師	テキスト
15日 土	11:10～12:00	開会の祈り 悦びの先祖・流産児供養	清水 志郎	凡庸の唄、光明法語
	12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00～13:45	今が新生の時	岡田 浩二	凡庸の唄、光明法語
	13:55～14:40	全ては勇気の第一歩から！	榎本 一子	凡庸の唄、光明法語
	14:50～15:40	聖經・経本の功德① 閉会の祈り	長田 忍	聖經、経本
16日 日	11:10～12:00	開会の祈り・太陽のように明るく	岡田 浩二	凡庸の唄、光明法語
	12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(長田 忍)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00～13:45	朗らかに笑って生きよ・朝の時間を生かせ	榎本 一子	凡庸の唄、光明法語
	13:55～14:40	聖經・経本の功德②	長田 忍	聖經、経本
	14:50～15:35	コトバの力で運命は変わる	清水 志郎	凡庸の唄、光明法語
	15:35～16:00	実相円満講行 実修・閉会の祈り	清水 志郎	新しい文明を築こう・中巻
1月16日午後3時30分より「先祖・流産児供養祭」が執り行われます。記載した霊牌を奉納金1柱100円以上を添えて現金書留にてお送りくだされば、宝蔵神社霊殿に奉安されます（メ切は13日必着）。「先祖・流産児供養祭」はFacebook 投稿からライブ配信いたします。ぜひご覧ください。 ※15日に講話にご参加いただいた方には霊牌を直接奉納していただけますが、16日当日には受け付けておりません。ご注意ください。				
22日 土	11:10～12:00	開会の祈り・愛こそ伝道の全て	榎本 一子	人生の主人公となるために
	12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(清水 志郎)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00～13:45	聖經・経本の功德③	長田 忍	聖經、経本
	13:55～14:40	神様のための仕事を為せ	清水 志郎	人生の主人公となるために
	14:50～15:40	信頼と感謝が繁栄の基礎・閉会の祈り	岡田 浩二	人生の主人公となるために
23日 日	11:10～12:00	開会の祈り 聖經・経本の功德④	長田 忍	聖經、経本
	12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00～13:45	神の愛に生かされて	清水 志郎	人生の主人公となるために
	13:55～14:40	愛は円環である	岡田 浩二	人生の主人公となるために
	14:50～15:35	あなたの祈りは必ず叶えられる	榎本 一子	人生の主人公となるために、人間苦の解放宣言
	15:35～16:00	祈り合いの神想観 実修・閉会の祈り	榎本 一子	新しい文明を築こう・中巻
29日 土	11:10～12:00	開会の祈り 聖經・経本の功德⑤	長田 忍	聖經、経本
	12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
	13:00～13:45	自己内在の神性を自覚しよう	岡田 浩二	森の日ぐらし、希望を叶える365章
	13:55～14:40	神の御心は全ての幸せ	榎本 一子	森の日ぐらし、希望を叶える366章
	14:50～15:40	他のために尽くすとき自分が笑える・閉会の祈り	清水 志郎	森の日ぐらし、希望を叶える365章
30日 日	11:10～12:00	開会の祈り・浄心行について	榎本 一子	森の日ぐらし、希望を叶える365章
	12:00～13:00	浄心行用紙記載・昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください。
	13:00～13:45	聖經・経本の功德⑥	長田 忍	聖經、経本
	13:55～14:40	お父さんお母さんに感謝しよう	清水 志郎	森の日ぐらし、希望を叶える366章
	14:45～15:50	「浄心行」実修・閉会の祈り	岡田 浩二	聖經「甘露の法雨」、万物調和六章経 聖歌歌詞集

聴講希望者 30 名迄は三密を避け感染防止対策を行った上、参加出来るようにする。（会場は人数に応じて使用する）

※参加は事前予約制となっております。2 日前までには、お電話または申込フォーム（本
山ホームページ、Facebook ページからお入りいただけます）にてお申し込みください。
分からないことがありましたら、練成部（0774-21-2153）までご連絡ください。



会場での講話聴講に是非お越しください



感染拡大に十分配慮したうえ、講話の聴講を受け付けます。(宿泊不可・事前予約制)

◆参加条件(参加人数は先着30名)

- ・ワクチン接種2回目を終え、14日以上経過した65歳以上の高齢者の方もご参加いただけます。
- ・基礎疾患(糖尿病・心不全・呼吸器疾患(COPD等)・透析を受けている方・免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方)をもった方は参加をご遠慮ください。
- ・当日検温の体温が37度以上の方は参加をご遠慮ください。
- ・息苦しさ・咳・だるさ・軽い風邪症状等、当日体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ・宿泊はできません。
- ・ご予約は、電話またはFacebook・ホームページの申込みフォーム上で、参加日2日前までにしてください。

◆参加にあたっての注意事項

- ・本山内ではマスクの着用をしてください。(1枚50円で受付でも販売しています)。
- ・トイレ使用時は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付や会場・食堂・トイレ等の出入りの際は手のアルコール消毒をしてください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2m)を守り身体的接触(ハグや握手)は避けてください。
- ・注意事項を守っていただけない方はお断りいたします。

◆受付時

- ・申込み用紙の体調記入欄を必ずご記入ください。

◆会場内での注意事項

- ・座席はソーシャルディスタンスを保ち、椅子の移動はご遠慮ください。
- ・至近距離での会話、大声での会話はしないでください。
- ・飲食はご遠慮ください。

◆食堂使用時の注意事項(昼食利用の方は事前にご予約ください)

- ・マイ箸・マイボトル・ハンカチをご持参ください。
- ・1テーブルに1名ずつ座り、皆、同じ方向を向いて食事をしてください。
- ・食堂内での会話はしないでください(黙食)。

◆お申込み方法(締切:参加日2日前まで)

- ・電話 0774-21-2153(練成部)またはFacebookかホームページの申込みフォームにて、お名前・県名・電話番号・生年月日・参加ご希望日(別紙参照)をお伝えください。

◆奉納金(昼食代は別途要/ご随意)

大人・・・1,500円/子供(3歳～12歳)・・・750円





(3頁から続く) 愛することの大切さを伝えていただきました。愛することを大切にしていくと、全てが悦びに変わっていくことです。また表情は心を反映する、言葉を通して表情がいい方に変われば、家庭は天国になるということをお教えたいただきました。さらに出発点のインスピレーションがいかに大切であるかを学びました。私は外国の生まれですが、生長の家の家庭で育ち、中学生までは現地の練成会にも積極的に参加していました。その後は長い間、生長の家の行事などから遠ざかっていました。去年初めて、娘と講話に参加することが出来ました。その時の感動は、今も忘れられません。今日もその感動を新たにしました。これを機に、ますます生長の家のみ教えを学んでいきたいと思えます。また宇治に来るのを楽しみにしています。

K. W (50代) (女性)

一か月前にも浄心行に参加させていただきましたが、娘から言われた言葉に引掛かり過去のことを思い出し、家族に対して今まで本当に申し訳なかったと思い、このモヤモヤを消して改めて「神の子の自分だった!」と思えるよう、参加させていただきました。講話からは、「過去はない!」、「罪は不完全、実在ではない。無いから消える。元々ない」と罪の全否定、そして神の子で完全圓滿と大肯定することを教えていただきました。

清水講師の「父母への感謝ほど幸せなことはない。愛されている、生かされている、満たされている」という気持ちを決めるというお話を聴かせていただき「そうだった! そうだった! 只々神様に生かされ、先祖様に護られ、どんな時でも父母に愛されている自分だった!」ということをいつも思い出せば良いのだと思えてきました。

すぐに劣等感を持ってしまう自分なんて最初からなかった。はじめのはじ

めから神の子だった! ということをこれからも忘れないように日々三正行に精進させていただきます。

T. E (10代) (女性)

二日間、講話に参加させていただきました。久し振りにこういった講話に参加させていただき、自分の中でとても強く何かを感じるがありました。特に二十日の「過去はない」という講話からは今の自分にすぐ当てはまることがあり、自然と涙が出るが多くなりました。

今の私は摂食障害、うつ病といった病気になってしまっています。過去を振り返ってしまったり、未来はきつとこうだろうと常にマイナスに考えてしまっていました。そんな心を変えてくれるようなお話をたくさん聴かせていただき、とても感動し感謝しました。

午後の講話では、お父さんお母さんに感謝し、お話を聴いている時に常に目がパツと開き、気持ちも明るくなりました。

浄心行では、自分の今までの過去は

なく、完全円満、罪はないと聴きました。初めてで良い経験をさせていいただきました。ありがとございました。



二日目の講話では「愛」とは何かを教えていただきました。結びの働きの話が少し難しかったですが、「愛」は「love」とは違うこと。愛を与えて生きてい

くと、恋愛や結婚にもつながっていくのだと分かりました。

また、嬉しいなと思った時にチャンヌが生まれる。私も、もつともつと嬉しいという気持ちを大切にしたいと思いました。表情次第で家族を天国・地獄にするという表現はとてもおもしろいと思いました。毎日明るい笑顔で自分の家をもつと明るい天国、温かい場にしたと思います。

魂の無限生長の道・研修生の皆さんの喜びの体験文です。

宇治別格本山 研修生 体験感想文

A. R (30代) (女性)

私は、生長の家を信仰する家庭に生まれました。小さい頃、姉と喧嘩をして辛かったこと怖かったことがよくあり、人間関係において自分の気持ちを抑え、思うように表現できずにいました。そして人はなぜ生きるのかを考えることがありました。

社会人となり生長の家からは離れて

いき、外に幸せがあると思っていたので、物質ばかりを追いかけて、幸せにない自分がいました。そんな時、新型コロナウイルス感染が拡大、会社が倒産し日常生活が大きく変わりました。その年の九月、九州地方で台風の接近に対し、総裁谷口雅宣先生のご提案で讃歌リレー読誦が行われた時、母と一緒に讃歌を読もうと勧められ、初めて『自然と人間の大調和を観ずる祈り』、『大自然讃歌』を読みました。今



まで個々別々と思っていた自然が自分の生命と一体であることが、スツと心に染

みました。私たちの生活に問題があり自然界を壊していること、利己主義ではいけないことを感じ神様への大調和した世界を現していくことが大切であることを教えられ、感動しました。

それから生長の家の教えをもつと学びたいと思い、聖經、聖典を読むようになり、母と共にネット配信による宇治別格本山の早朝行事、先祖供養も始めました。そして真理研鑽をしたいと思い三ヶ月間研修生とならせていただき、じっくり自分と向き合うことができました。

今までは父母に対して、いつも縛られていると感じていましたが、心配や迷惑をかけたくなかったため自分の気持ちは抑えていました。講師は、父母への感謝の大切さを熱心にお話くださり『親に迷惑もかけてないし、父母に感謝しているので大丈夫です』と

言っている人が意外と感謝していないんだよ」と話され、まさしくそれは自分だと思いました。

また「肉体の父母を見るのではなく生命の父母に感謝するんですよ」と教えられ「愛されている、喜ばれている、祝福されていると何度も言ってくださいね」と指導いただきました。感謝しているつもりが心の中では、愛されていない、寂しかった思いがあり、父母の愛を受け取れていなかった自分だったと気づき、本当は愛してくれていた父母だったと、感謝出来るようになりました。

研修生活を通して、幸せは外にあるのではなく自分の内にあり、完全円満

●宇治別格本山の歴史 (8)

末一稻荷神社建立の由来



昭和四十九年十月二十日、末一稻荷神社遷宮鎮座祭は谷口雅春先生の御親祭により執行された翌日、詳密講習会の中で、谷口輝子聖姉はこのようなお

の神の子だったと目覚めることができました。

そして与えられた今、神の子の自覚を深め、神の子の自分を表現することが本当の悦びなのだと分かり、本当の生きる意味を教えていただきました。この素晴らしい機会をいただき、ご指導くださいました講師の方々、お世話くださいました皆様、本当にありがとうございました。



うござい
ました。

話しくできました。

「今年で生長の家は四十五周年を迎えました。今から四十五年前『生長の

1・2月宇治別格本山で行われる行事

1月1日(祝)~3日(月) 11:00 ~
11日(火) 10:00 ~
13日(木) 10:00 ~
16日(日) 15:30 ~
19日(水) 10:00 ~
2月10日(木) 11:00 ~

宝蔵神社新年祭(ライブ配信) ※無参列
自然災害物故者慰霊塔月次祭 ※無参列
宝蔵神社月次祭(ライブ配信) ※無参列
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭 ※無参列
宝蔵神社先祖・流産児供養祭(ライブ配信) ※無参列
末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭 ※無参列
第48回末一稻荷神社 初午祭(ライブ配信) ※無参列

練成会は令和4年1月まで中止です。

再開は、ホームページ又は Facebook、お電話にてお問い合わせください。

※上記御祭へのご参列はご遠慮ください※

『家』が、創刊されました時、現在神戸市の住吉道場になっております、あの藤棚の家に隣町から引越してきてすぐでした。

ご承知のように私達夫婦は、誌友というものが一人もいない中から出版いたしました、『生長の家』を誰に読んでもらおうかと二人で相談致しまして、あらゆる知り合いを辿って発送いたしました。千部は無代で頒布し、結局六ヶ月無代発送が続いたのでございました。誰か顔を見ると『生長の家』を読んで頂きたいと思っておりました私は、毎日行きます風呂屋のおかみさんに、創



刊号を持って行きまして「私のところの主人は、今度こういうものを発行することになりました。あなたもひとつ読んでください」と言って渡しました。その「勇湯」のおかみさんの勇子さんが「谷口さんあなたそういう仕事を始められたのなら、お稲荷さんをお祀りしなさい」と言われるのです。「お稲荷さんはあなたのようなお仕事をなさる方にはとてもお守りくださるのだから、あなたのお仕事は成功しますよ」と番台にいて、勧めてくれたのです。私が「さあッ、って言う顔をして、逡巡している様子を見て勇子さんは「京都の伏見にお稲荷さんの本社がありますから、そこへあなたをお連れします。私がお伴しますから、是非是非お稲荷さんをお迎えなさいませ」と強く勧めてくれたのです。

勇子さんのご都合のいい日、昭和五年二月の初めだったと思います。京都の伏見稲荷大社にお参りして、私はお稲荷さんに向かって『生長の家』という雑誌を発行い



誓いしたのでございます。

そしてその後、誌友が僅か千二百人くらいの方に、住吉から東京へ移ったのですが、東京に移って何年か経ちましてから、遂に一万人が達成したのでございます。

たしましたが、これの誌友が一万人に達しました時は、地祭らせて頂きます」とお

約束に背くのは大嫌いな性分ですから、「一万人突破したからお稲荷さんをご地祭りして差し上げたい」と、先生に申し上げて、出入りの大工さんに頼んで、日本教文社と普及協会のある赤坂に物のない時分のこと小さいのを建てるのができたのですが、いつかもっと立派なのを建ててさしあげたいなあと思っているうちに、今日に至ったのです。その時、私はわざわざ京都・伏見稲荷大社に新たにお稲荷さんをお迎えに行ったのですが、その時も私が本殿の前で『天津祝詞』を誦けておりました

ら、居合わせた人達が何か騒ぐので、誦げ終わって尋ねると、「奥様が天津祝詞を誦げていらっしゃる間中一羽の白鳩が頭の上をクルクルクル舞っていました！」というのです。

勇湯のおかみさんに連れられて行った最初の時のお稲荷さんは自宅にずっと四十五年間お祀りしていたのですが、この度私どもがお連れして宇治別格本山の末一稲荷神社に納めたのです。皆様のお陰であんな立派なお祭りが厳かに行われて本当に私は稲荷大神様に「お陰様で『生長の家』の誌友が一人出来たら地祭りして差し上げますとお誓いしたのでございますが、二百三十万人突破した今日、立派なお社が出来ました」と感謝いたしました。誌友一人に達して伏見稲荷神社にお参りした時に、京都の白鳩会の幹部の方たちが、宇治に行ったことがない私を、宇治に連れて行って下さったことが始まりで、現在の宇治別格本山が生長の家の所有になり、山を切り崩して宝蔵神社を建てたり、幽斎殿を建てたりして、どんどん発展して参りました。

た。

これもみなお稲荷さんのお陰が大いにあると思います。」

概略以上のようにお話しされ、参加者一同大感激のうちに鎮座祭をおわり、その後は生成化育万物調和 五穀豊穡招福の神と称え奉られる末一稲荷大神

〈神癒祈願のお礼状〉



孫が大学合格

J. M (女性)

孫が受験生で、毎日学校帰りに塾に寄って、勉強していました。おかげ様で、推薦入試で希望大学に合格しました。お祈りしていただき、ありがとうございます。

の御舎は、特に生長の家栄える会の企業家の方たちの信仰も篤く、国家安泰

世界平和、事業繁栄、家内安全、良縁成就、健康長寿、所願成就を導き給う神として、宇治別格本山の中腹に静かに鎮座ましましています。

年に一度の初午祭今年は二月十日に行われます。

就職が決まりました

M. T (女性)

この度、就職祈願をお願いしましたところ、希望していた行政機関に就職が決まりました。ありがとうございます。今月より勤務させていただきます。本当に素晴らしい職場に配属させていただきます。大変喜んでおります。

宇治には特別の思いがあり、何度もう神癒祈願をお願いしております。これからも、自分のことだけではなく、祈願をお願いしたいと思います。

今、私は本当に幸せです。ありがとうございます。

「写経のお礼状」



手術が成功

T. D (女性)

写経でお祈りいただいて、先月は宇治の講話を娘と共に聴くことができました。娘は「やったー！講話が聞ける！」とバンザイして、講話中は大人しくしておりました。

三年前、自然流産したので、ずっと宇治に行きたくて、流産児供養塔で『天使の言葉』を誦げ、お菓子をお供えさせていただきました。末「稻荷神社や、宇治にある神社までお参りさせていだきました。講師の方々の笑顔が光り輝いていて、参加者全員真剣にご講話を聴かれていて、日帰りですが、行っ

て本当に良かったです。
宇治から帰った三日後、起床時に激

しい頭痛があり、近医を受診しましたところ、左前頭葉が真っ白に腫れており、総合病院へ緊急入院することになりました。左前頭葉腫瘍で、三日間嘔吐し続け、開頭術をしていただきました。余命三ヶ月、脳腫瘍、ステージ四だったそうです。術後は「失語症が現れる可能性が高い」と言われ、かなりショックでした。

病室からインターネットで神癒祈願を申し込ませていただいたからか、術後は意識障害もなく目覚めました。術前より元気になり、快適です。高次脳

「新春書初め」 郵送申込みのご案内

「新春書初め」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送のみの取扱いとさせていただきます。

- ◎受付期間 令和3年12月1日
～同4年1月31日迄
- ◎奉納金 200円以上
(大人・子ども共通)
- ◎現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

書初めは1年間、写経は10年間、写経奉安礼拝殿に奉納し、毎日讃歌、聖経読誦が行われています。

詳しくは、祈願部写経課(0774-21-2305)までお問い合わせください。

機能障害は、思った以上に進んでいるようです。障害が残るはずが、元気に生きていられること、とても奇跡でした。医師全員の予測が外れ、悪性がんではなかったようです。お祈りの愛念を感じており、安心して手術に臨むことができました。主治医が神様のよう

に素晴らしく、手術前の週末「あなたのことをずっと考えてました」と言うてくださり、とてもありがたかったです。「良くならないはずの脳の浮腫が引いてきて、薬が効くはすがないのに、あなたには効いている。不思議だ。脳外科全員の医師が、あなたの頭が疑問で悩んでいます」と仰いました。神癒が現れたと思ひ、涙が出ました。手術直前に宇治に行けたことで救われました。この度はお祈りいただき、ありがとうございました。

第48回末一稻荷神社初午祭



2022年2月10日(木)午前11～12時

当日は無参列です。Facebookにて配信予定。



教勢発展・繁栄祈願
申込受付中!!

「教勢発展・繁栄祈願申込書」にご記入いただき、
宇治別格本山祭司部宛に郵送にてお申込みくだ
さい。初午祭にて祝福祈念の後、翌年まで1年
間末一稻荷神社に奉安し、毎日聖経「甘露の法雨」
を誦読し祝福祈念いたします。

【締切】郵送は1週間前まで

(締切以降に到着分は毎月19日の末一稻荷神社
月次祭にて奉安いたします)

「同申込書」はホームページよりダウンロードできます。



◆オンラインによる対面個人指導(無料)を行います◆

※お申込みにより日程を調整致します。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補
(担当講師のご希望はお受けできません)

条件：zoom かメッセージャーをご自分で繋がられる方

お申込み方法：facebook 生長の家宇治別格本山ページ、または、
メール rensei@uji-sni.jp へ、メッセージでお名前(ふり
がな)・電話番号・ご希望日時をご送信ください。

担当講師等、こちらより返信いたします。

宝蔵神社先祖・流産児供養祭

=== 1月16日(日)午後3時30分～ライブ配信 ===

記載いただいた霊牌は、奉納金1柱100円以上を添え現金書留にてお送りいただくと、宝蔵神社霊殿に奉安されます(13日必着)。供養祭はFacebook「生長の家宇治別格本山」ページにて、ライブ配信致しますので是非ご覧ください。



宗教法人 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/



ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。